

成果指標				
成果指標	農業用水給水量			
指標設定の考え方	農業水利施設の利用効果を測るための指標として、農業用水の給水量を指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	1,671,123m ³	1,665,924㎥	0	0
実績	996,456m ³	996456㎥	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	道後平野土地改良区及び大谷池土地改良区に納める負担金等について適切に処理を行った。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	当事業は、農業用水の安定確保・供給を図るための事業であり、水路の調査・点検並びに補修改良工事に係る負担金の支出、配水管理に係る経費負担等必要不可欠な事業となっている。今後も継続して効率的に実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題